

はつらつ新聞

令和6年春特別号
No. 129
医療法人長清会
長岡美里・由女

ご挨拶

長岡医院駐車場を整備するために庭木と池にお別れすることになりました。長年皆様に親しまれてきた庭と池の特集号を組みました。ご覧ください。
理事長 長岡由女



昭和50年 武雄院長夫妻と職員



昭和53年 長岡医院の門柱



昭和53年
正博・迪生・バル(犬)・美里・由女



昭和54年 沢丁子供会

長岡医院と庭の歴史

昭和14年 現在のヤマザワ薬局の場所に診療所を開院。
昭和32年 移転。しだれ桜の古木、三本の幹に分かれた三本松、心の形を模した心字池など立派な庭がありそれらを生かして庭を整備。
平成15年 俳人佐藤柗坡の歌碑を建立。
「風かおる 庭と石との 対話の刻(とき)」
令和6年 利便性と安全性向上のために、駐車場を拡大することになり庭を解体。

池のある庭で蔵王石に座り、のんびりしているのが私は好きだ。古木の桜、三本の松、睡蓮の花、泳ぎ回る錦鯉…

“動と静”が見られる光景は、父武雄の叔父である柗坡(しゅうは)が詠んだ句の言葉を借りれば「風かおる 庭と池との対話の刻(とき)」とでも詠める情景である。

終戦後の10数年間、沢丁地区には100名以上の子供たちが住んでおり、四季折々の庭は格好の遊び場になっていた。

時代が変わり、少子高齢化および車社会の到来により、医療機関における駐車場のニーズが高まっており、長岡医院の庭は役割を終え、患者様のための駐車場に変わろうとしている。

当院の庭は無くなるが、上山市は蔵王の山々をはじめ多くの里山や温泉に恵まれた自然豊かな土地であります。これからは上山の自然により一層親しんでいきたいと思う。

患者様には、この豊かな自然と親しみながら健康寿命をのばして欲しいと願っております。

前理事長 長岡迪生



平成15年 歌碑建立



令和3年 しだれ桜



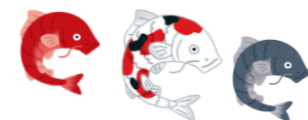
令和5年 心字池



令和6年4月 迪生先生夫妻と職員



令和6年4月 ドローンで撮影



ちなみに鯉たちは市内の旅館などにお引越しました